

2006年4月4日

世界最高解像度を持つ地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビなど
薄型テレビ「^{ウー}WOOD」シリーズ6機種を発売
デジタルハイビジョンHDDレコーダーを内蔵(500GB相当の録画時間)し、ボタンひとつで録画が可能に



W42P-HR9000



W32L-HR9000

日立製作所ユビキタスプラットフォームグループ(グループ長&CEO:江幡 誠/以下、日立)は、42V型、37V型のプラズマテレビでは世界最高解像度*1を持つ「1080ALIS パネル」を搭載し、細部まで美しい映像を表現できる地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビと、「IPS α パネル*2」を搭載し、スポーツなどの動きの速い映像をより鮮明に表現できる32V型の地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビの合計6機種を4月29日から順次発売します。そのうち3機種は、デジタルハイビジョンHDDレコーダーを内蔵し、テレビのリモコンの録画ボタンを押すだけで簡単に、素早く番組を録画することができます。

本シリーズは、プラズマパネルには富士通日立プラズマディスプレイ株式会社(代表取締役社長:井本 義之)の最先端パネルである「1080ALIS パネル」を、液晶パネルには株式会社 IPS アルファテクノロジー(取締役社長:米内 史明)の広視野角を有する「IPS α パネル」を搭載し、日立グローバルストレージテクノロジーズ(取締役会長兼CEO:中西 宏明/以下、日立GST)の250GB容量のHDDと、日立メディアエレクトロニクス(代表取締役社長:下田 保博)のデジタル・アナログ一体型チューナー*3を採用するなど、最先端のデバイス技術や高画質技術を活用し、日立の総合力を結集した製品です。

今回発売するプラズマテレビは、42V型、37V型のプラズマテレビでは世界最高解像度を持つ「1080ALIS パネル」を搭載し、デジタルハイビジョン映像を細部まで美しく表現できます。また、従来から実現している輝きのある白色から沈み込んだ黒色までの階調表現だけでなく、新開発の「高色純度赤蛍光体」を採用することにより、映像の中で赤色をより忠実に再現でき、ありのままの鮮やかな色を楽しむことができます。

また、液晶テレビは、動画に強い日立独自の開発技術「倍速スーパーインパルス表示技術」を採用した上、新開発の「IPS α パネル」を搭載したことにより、スポーツなどの動きの速い映像を、より鮮明に映し出すことが可能になりました。また、500cd/m²の高輝度や、さまざまな角度から見ても画質が変化することのない上下左右178度の広視野角を実現し、広いリビングでの多人数による視聴にも適しています。

デジタルハイビジョンHDDレコーダー内蔵の「HR」シリーズは、搭載するHDDの容量を250GBへ拡大し、さらにHDトランスコード/トランスレート技術である「XCodeHD*4」や、日立独自のHDD制御技術「HPSM*5」を採用することにより、デジタルハイビジョン放送をHDDの容量で500GB相当分*6、約50時間録画できます。また、ダブルデジタルチューナーを搭載することにより、デジタルハイビジョン放送を見る動作

を中断させることなく、同時に別の番組を録画することができたり、デジタルハイビジョン放送を2番組同時に見ることもできます。さらに、HDD レコーダー内蔵であるため、テレビのリモコンの録画ボタンを押すだけで簡単かつ素早く番組を録画することができます。

加えて、本シリーズは、従来の画像処理エンジンである「Picture Master」を進化させ、デジタルハイビジョン放送をより高画質に表現するための画像解析や画像変換の処理を実現した「Picture Master HD」を新規に開発したことにより、動きの速いスポーツや、人の豊かな表現が求められる映画などの映像も、より高画質で楽しむことができます。

また、宣伝・販売促進活動では、日本を代表する女優の「黒木 瞳」さんをブランドキャラクターとして引き続き起用すると同時に、テレビCMでは、日本の織物を代表する「有職織物」で知られる、京都西陣「俵屋」18代を継承した重要無形文化財保持者である「喜多川 俵二」さんが製織した装束を「黒木 瞳」さんが着用します。美しさを持つ日本伝統の織物を、「黒木 瞳」さんが身に着けることで、日立の「Wooo」が持つ映像の再現力を表現していきます。

■型式、価格及び発売日

地上・BS・110度CS デジタルハイビジョンプラズマテレビ／液晶テレビ*ラックおよびスタンド付別売(32V型はスタンド付)

| 方式 | 画面サイズ | 型式 | 発売日 | 本体希望小売価格 | 当初月産台数 |
|------|-------|-------------|-------|----------|-----------|
| プラズマ | 42V型 | W42P-HR9000 | 4月29日 | オープン価格 | 50,000台/月 |
| | | W42P-H9000 | 5月15日 | オープン価格 | |
| | 37V型 | W37P-HR9000 | 4月29日 | オープン価格 | |
| | | W37P-H9000 | 5月15日 | オープン価格 | |
| 液晶 | 32V型 | W32L-HR9000 | 4月29日 | オープン価格 | |
| | | W32L-H9000 | 5月15日 | オープン価格 | |

■開発背景

日立のテレビ事業は今年で50周年を迎えます。1956年に日立のテレビ1号機「14型白黒テレビF-100」を発売して以来、オールトランジスタ化や高画質・大画面化など、日立は常に最先端の技術を活用したテレビ事業に取り組んできました。そして、2001年には世界初の32V型プラズマテレビを発売し、家庭用薄型テレビの新たな市場を創造しました。

本年12月にはすべての都道府県庁所在地で地上デジタル放送の実施が予定されており、日本のテレビ市場は本格的な薄型・大画面・デジタルハイビジョン高画質時代という新たな局面を迎えます。この間、日立は一貫してデジタルハイビジョン画素の表示を追及した薄型テレビ「Wooo」シリーズを発売し、時代の最先端を切り開いてきました。今回発売する薄型テレビ「Wooo」9000シリーズでも、人の視覚で感じることのできる色を、より忠実に表現できる製品を提供し、放送の進化がもたらす優れた映像をより美しく再現します。

※  は3つの「Wo～」を意味しています。

(Wonder—驚きがある。World standard—世界の新しい基準である。Worthwhile—高い価値がある。)

*1：2006年4月現在、日立調べ

*2：株式会社IPSアルファテクノロジー（取締役社長：米内史明）が製造するIPS方式液晶パネルの名称

*3：地上・BS・110度CS デジタル、地上アナログチューナーを搭載した一体型チューナー

- *4 : カナダ(トロント)に本社を置く ViXS Systems Inc. のHD トランスコード/トランスレートテクノロジー
- *5 : HPSM (High Performance Streaming Manager) 日立が開発した映像ストリームを効率的に扱うミドルウェア
- *6 : TSE1/TSE2 モードでのデジタル放送録画時間を HDD 容量に換算した場合

■お客様からの問合せ先およびカタログ請求先

お客様相談センター

電話 : 0120-3121-11 (フリーコール)

時間 : 9:00~17:30 (日曜・祝日及び弊社休日を除く)

■製品紹介ホームページ

「日立 AV ワールドホームページ」 URL:<http://av.hitachi.co.jp/>

以上

<新製品の主な特徴 >

■高画質技術

1. 世界最高解像度「1080ALISパネル」

42V型、37V型デジタルハイビジョンプラズマテレビに、デジタルハイビジョン放送と同じ垂直方向1,080画素をもつ、新開発の世界最高解像度を有する「1080ALISパネル」を採用しました。デジタルハイビジョン放送の垂直方向の信号(1,080画素)を画素変換せずにリアル表示することを実現(42V型、37V型プラズマテレビでは世界初)、従来よりも更に高精細なデジタルハイビジョン視聴を可能にしました。42V型で1,400cd/m²の高輝度と4,000:1の高コントラストを確保、力強い輝く白から黒く沈み込む暗部までの階調表現を両立させた高画質を実現しています(37V型は1,300cd/m²・3,000:1)。また、赤色の発光特性を大幅に改善した新開発「高色純度赤蛍光体」を採用することで、目のさめるような「純赤」を再現でき、色再現性能も一段と向上しました。さらに、パネルの駆動方法を改善することで、暗部の表現に優れたプラズマの特性を一層向上し、従来に比べ、より表現力のある豊かな映像をお届けします。

2. 倍速表示でキレイのある動画を表現、新開発「IPSαパネル」

32V型デジタルハイビジョン液晶テレビには、日立独自の開発技術「倍速スーパーインパルス表示技術」を採用した上、新開発の「IPSαパネル」を搭載したことにより、動画応答性能を大幅に向上しています。「倍速スーパーインパルス表示技術」は、1秒間60コマの元の映像を1秒間120コマの倍速に変換し、液晶のもつ残像感(ホールド効果)を軽減し、さらに、映像と映像の間に黒い映像を挿入するインパルス駆動により、従来に比べ輝度を落とすことなく動画のボヤケを大幅に抑制し、スポーツなどの動きの速い映像もボヤケ感なく鮮明に映し出すことができます。高輝度500cd/m²の本パネルは、上下左右178度の広視野角を有しており、さらにワイドビューフィルターを装備することで、様々な角度から見ても画面が白くなったり、肌色が変わることがないので、多人数でのリビングでの視聴にも最適です。

3. 画像処理エンジン「Picture Master HD」

従来の画像処理エンジン「Picture Master」をさらに進化させ、デジタルハイビジョン放送のデコーダーLSIと統合し、処理能力を飛躍的に向上した「Picture Master HD」を新規に開発しました。

- ①「リアルサンプリング」:デジタルハイビジョン放送信号を画像処理部に直結入力することによる高速化や、画像の解析・変換処理の高精細化を実現し、デジタルハイビジョン放送の水平1,920×垂直1,080画素のすべての情報をサンプリングし、繊細で豊かな色彩の映像を実現します。
- ②「3次元デジタルカラーマネージメント」:複数の指定色を他の色に影響を与えることなく同時にコントロールし、それぞれ独立した色合い・色の濃さ・明るさを調整し、美しく豊かな色再現を実現します。
- ③「アドバンスドダイナミックコントラスト」:映像シーンごとにヒストグラム分析を使った画像認識処理技法により、シーンに応じた最適なコントラストと豊かな階調で表現します。
- ④「動きベクトルIP変換処理」:DVDなどの標準画質信号の、画像の動く方向を検出して高画質なプログレッシブ処理を行うことで、各表示パネルに合わせたより滑らかな動画を実現しています。

■余計な接続不要。ボタンひとつですぐ録れる。「WoooでREC(録画)」<「HR」シリーズ>

1. ハイビジョン画質でたっぷり録れる(500GB相当分)

搭載する日立GST社製HDDの容量を従来機種種の160GBから250GBに大幅アップしました。さらに、HDトランスコード/トランスレート技術である「XCodeHD」の採用により、デジタルハイビジョン放送の高画質を保ちながらトランスレート録画ができる「TSE1/TSE2」モード_{※7}を追加、デジタルハイビジョン録画を約50

時間^{*8}可能とし(従来機種はTSモードで約16時間)、HDD容量500GB相当分の長時間録画を実現しました。なお、VHS画質での録画(LPモード時)なら約181時間(VHSテープ約90本分)、長時間録画のEPモードなら最大約286時間の録画ができます。(各録画時間は目安であり、番組により録画時間は短くなる場合があります。)

2. ダブルデジタルチューナー搭載で多彩な使い方が可能

地上・BS・110度CSデジタルチューナーを2系統(地上アナログチューナーも2系統)^{*9}搭載することにより、多彩な使い方が可能です。

- ①見たい番組が重なったときに、デジタルハイビジョン画質のまま裏番組録画をしながら、別の番組を視聴できます。
- ②画面機能を使って、デジタルハイビジョン番組を2番組同時に視聴できます。

3. 内蔵だから簡単&便利

レコーダー機能を内蔵しているため、外部接続したDVDレコーダーなどのように、ケーブル接続の手間や、外部入力に切り替えたり、リモコンを使い分けたりといった面倒な操作は必要ありません。デジタル放送のEPG(電子番組表)からのダイレクトの録画予約や、テレビのリモコンの「録画」ボタン操作ひとつで、思い立ったときにすぐに録画できます。また「録画」ボタン連続操作で録画の終了が指定できるクイックタイマー(30分から6時間で選択可能)に、今回から、デジタル放送の番組情報を使った「番組の終了まで」を新たに追加し使いやすさを向上しました。いままでDVDレコーダーなどの操作に抵抗感があったユーザー層にも簡単に操作ができるので、新しいテレビの楽しみ方を提供します。

4. 「WoooでLink」を新規に採用

内蔵のHDDレコーダーに録画したデジタルハイビジョン番組を、i.LINK経由で日立の地上・BS・110度CSデジタルチューナー内蔵のデジタルハイビジョンHDD/DVDレコーダー「Wooo」シリーズの「DV-DH1000D」、「DV-DH500D」に移動(ムーブ)することを可能にした「WoooでLink」機能を新しく採用し、日立「Wooo」ワールドの使いやすさを向上しました。

5. ストリーム高速処理ミドルウェア「HPSM」を搭載

内蔵のHDDレコーダーへのデジタルハイビジョン番組の録画や再生に、日立独自のHDD制御技術「HPSM」(高性能ストリーミングマネージャ)を採用しました。これによりデジタルハイビジョン映像の同時録画・再生時のストリーム処理や、データ転送レートの管理などが効率よく制御でき、HDDレコーダー操作時の応答性能を改善しています。

■高音質化技術

1. プラズマテレビ: 迫力の3Way6スピーカーシステム

左右各々のスピーカー部に、独立したバスレフ方式の低音用ウーハー1個と、中高音用のミッドレンジ用スピーカーおよびツイーターを配置し、合計3個のスピーカーを搭載しました。セット総合では6個のスピーカーを内蔵し、42V・37V型で総合36Wの音声出力を持つ迫力の本格的スピーカーシステムを採用しています。

2. 液晶テレビ: 2Way4スピーカーシステム

テレビ本体の下部に音声出力総合20Wのアンダースピーカーを配置。左右各々のチャンネルにバスレフ方

式の中低音用ウーハーと高音用のスピーカーを使用したシステムです。

3. デジタル放送の番組情報に連動し音場を自動的に切り換える自動音声モード*10

デジタル放送の番組情報として送られてくるジャンル情報(スポーツ・音楽・映画など)に連動して、スピーカーから再生する周波数特性やサラウンド効果(WOW・SRS サラウンド(立体音響効果)・TruBass(低音再生)・BBE(明瞭度改善))を調整し、番組ジャンルにふさわしい音場を演出する、自動音声モードを追加しました。大画面の迫力と合わせスポーツ観賞などの臨場感を盛り上げます。

■省エネ&エコロジー対応

1. 年間消費電力量*11・消費電力の削減と省エネ機能

- (1) 本シリーズでは、徹底した省エネ設計を推進し年間消費電力量・消費電力の削減を行いました。その結果、特に「W42P-H9000」ではダブルデジタルチューナー搭載で業界最小の292kWh/年を実現、当社従来機種*12に比べ約39%の削減をはかり、大画面テレビの省エネ化を推進しています。また、「HR」シリーズでは、HDDレコーダー関連部分の消費電力を従来の薄型テレビ「Wooo」8000シリーズに比べ約30%削減し、同じ画面サイズでのHDDレコーダー内蔵機種と非内蔵機種との差を20W(従来は30W)とし、外部接続レコーダーとの併用の場合よりも省エネ性能の点でも有利です。
- (2) プラズマパネル、液晶パネルとも約60,000時間*13の長寿命設計
- (3) テレビの切り忘れなどに備えた省エネ機能を搭載
 - ・放送終了で無信号状態が10分継続すると電源をオフする「無信号電源オフ」
 - ・リモコン等の操作が約2時間無い場合に電源をオフする「無操作電源オフ」
 - ・ビデオ入力での無信号状態ではパネル部分への電力供給をカットする「ビデオパワーセーブ」

2. JIS規格 J-Moss*14のグリーンマークに対応

今回の製品は、電子機器に含まれる特定化学物質の含有表示について、新たに日本工業規格(JIS)で制定されたJ-Mossにいち早く対応し、規制対象物質である「鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB(ポリブロモビフェニル)・PBDE(ポリブロモジフェニルエーテル)」の6物質の非含有*15をあらわす「グリーンマーク」製品であり、環境負荷の低減を図っています。

■使いやすさの向上とユニバーサル設計

1. リモコン操作で画面の向きを変えられるリモートスイーベル

日立の薄型テレビの特徴となった、リモコン操作で画面の向きが左右各30度可変できる「リモートスイーベル」機能は、42V型・37V型に加え、今回32V型液晶テレビ用にも2種類のタイプを用意しました。スイーベルスタンドとスイーベルラックはお客様の設置場所に合わせて選ぶことができます。

| 種類 | 適合サイズ | 型名 | 希望小売価格(税込) |
|-----------|--------------|------------|------------|
| スイーベルスタンド | 42V型プラズマテレビ用 | TP-9000WST | 31,500円 |
| | 37V型プラズマテレビ用 | | |
| スイーベルラック | 42V型プラズマテレビ用 | TB-PSR4261 | 89,800円 |
| | 37V型プラズマテレビ用 | TB-PSR3761 | 83,800円 |
| | 32V型液晶テレビ用 | TB-LSR3261 | 75,800円 |

(注)32V型液晶テレビはスイーベルスタンドが付属

2. 大型選局ボタンとポップアップ GUI で使いやすさに配慮

地上デジタル放送、BS デジタル放送など、見ている放送がすぐに分かる見やすい液晶表示が付いた「かんたんリモコン」を継続採用しています。よく使うチャンネル選局ボタンは大型サイズで、黒地に白色の見やすい文字印刷を採用、上下のボタン間隔も 4mm 確保し、意図しないボタンの誤操作等を防止しています。また、デジタル放送の EPG (電子番組表) や操作メニュー表示の GUI は、選んだ項目や内容が周辺より少し拡大され浮き出してくるポップアップ表示を継続採用することで、画面操作時の視認性を上げるなど使いやすさに配慮した設計です。

3. 全機種ダブルデジタルチューナー搭載、デジタル放送の 2 画面に対応

全ての機種が地上・BS・110 度 CS デジタルチューナーを 2 系統 (地上アナログチューナーも 2 系統) 搭載。今後ますます受信エリアの拡大と番組の充実が期待されるデジタル放送の見たい番組が重なっても、本シリーズならデジタル放送の 2 番組を 2 画面で同時に楽しむこともできます。

4. 2 系統の HDMI 端子を装備し、将来の拡張性も配慮

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) 端子はすでに DVD プレーヤー・DVD レコーダーなどに採用され、さらに将来的には、ゲーム機・ホームシアターシステム・PC などへの採用が予想され、次世代デジタルテレビ向けのデジタルインターフェースであるといえます。本シリーズは HDMI 端子を 2 系統装備し、将来の拡張性にも配慮しています。

*7: TSE1/TSE2 モードでは字幕を除くデータ放送は録画されません。音声はユーザー指定のモードのみ録画されます。

*8: TSE1 モードでデジタルハイビジョン放送を録画時

*9: 地上・BS・110 度 CS デジタル、地上アナログチューナーを搭載した一体型チューナー合計 2 個

*10: メニュー画面の各種設定、音声モードで「オート」選択時に有効

*11: 年間消費電力量は JEITA 基準による。

*12: 当社従来機種「W42-P7000+AVC-H7000」との比較

*13: プラズマテレビはパネル輝度 40% 到達までの目安時間、液晶テレビはバックライト輝度半減までの目安時間

*14: J-Moss: 電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法

(The marking for presence of the specific chemical substances for electrical and electronic equipment)

*15: JIS C0950 に規定する除外項目を除く。

■他社商標注記

- ・ i.LINK はソニー株式会社の商標です。
- ・ WOW、TruBass、TruSurround は SRS Labs, Inc. の商標です。
- ・ BBE は、BBE Sound, Inc. 社が特許を獲得している音響改善技術です。
- ・ HDMI (High-Definition Multimedia Interface) は HDMI Licensing LLC. の商標です。
- ・ 各製品、各社名は各社の登録商標、または、商標です。

〈主な仕様〉

1. 地上・BS・110度CS デジタルハイビジョンプラズマテレビ

| 型式 | W42P-HR9000 | W42P-H9000 | W37P-HR9000 | W37P-H9000 | |
|----------------------------------|--|-------------|---|-------------|---|
| 表示サイズ (幅×高さ、対角) | 92.2×52.4cm、106.0cm | | 81.4×44.8cm、93.0cm | | |
| 表示方式 | ALIS方式 (1080ALIS/パネル) | | | | |
| 表示画素数 (水平×垂直) | 1,024×1,080 | | 1,024×1,080 | | |
| 画素ピッチ (水平×垂直) | 0.90×0.49mm | | 0.80×0.42mm | | |
| 輝度 (白ピーク、パネル単体) | 1,400cd/m ² | | 1,300cd/m ² | | |
| コントラスト (暗所、パネル単体) | 4,000:1 | | 3,000:1 | | |
| 受信チャンネル | 地上デジタル 000-999(CATV/パススルー対応) BS デジタル 000-999 110度CSデジタル 000-999(右旋円偏波) 地上アナログ VHF:1-12ch UHF:13-62ch CATV:C13-C63 | | | | |
| ダブルデジタルチューナー | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| HDDレコーダー機能 (HDD容量他) | ○ (250GB、XCodeHD) | — | ○ (250GB、XCodeHD) | — | |
| 音声出力 (JEITA) | 総合 36W | | 総合 36W | | |
| スピーカー 低音用 中高音用 | (5.5X10cm バスレフ方式)×2、 (16X3.5cm、2cmΦ)×2 | | (6.6cmΦ バスレフ方式)×2、 (16X3.5cm、2cmΦ)×2 | | |
| サラウンド他 | WOW(TruBass、SRS-3D)、TruSurround 5.1、BBE | | | | |
| 入出力端子 | HDMI 入力端子 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | D4 入力端子 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | S2 ビデオ入力 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| | ビデオ入力 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | モニター出力 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | サブウーハー出力 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | i.LINK (TS 入出力/DV 入力) | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 光デジタル音声出力 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 電話回線接続端子 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | IR コントローラー | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | ヘッドホン出力 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | LAN 端子 (10BASE-T/100BASE-TX) | 1 | 1 | 1 | 1 |
| SD/MMC カードスロット | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| アンテナ入力端子 | VHF/UHF 入力 ×1 | | BS/CS-IF 入力 ×1 | | |
| 消費電力 (待機時) | 365W (0.5W) | 345W (0.5W) | 314W (0.5W) | 294W (0.5W) | |
| 年間消費電力量 (JEITA 基準「スタンダード」で測定) | 318 kWh/年 | 292 kWh/年 | 264 kWh/年 | 238 kWh/年 | |
| 本体外形寸法 (幅×高さ×奥行) | 113.4×64.8×9.9cm (下部最大奥行 10.9cm) | | 104.9×56.6×10.3cm (下部最大奥行 11.3cm) | | |
| 本体質量 | 34.8 kg | 34.0kg | 29.5kg | 28.7kg | |
| リモートスイーベル * スタンド/ラック | ○(別売)/○(別売) | | ○(別売)/○(別売) | | |

*: 設置に際しては別売のスイーベルスタンド/ラック等が必要です。

2. 地上・BS・110度CS デジタルハイビジョン液晶テレビ

| 型式 | W32L-HR9000 | W32L-H9000 | |
|---------------------------------|---|-----------------|---|
| 表示サイズ (幅×高さ、対角) | 69.8×39.2cm、80.1cm | | |
| 表示方式 | IPS方式 (IPSαパネル) | | |
| 表示画素数 (水平×垂直) | 1,366×768 | | |
| 画素ピッチ (水平×垂直) | 0.51×0.51mm | | |
| 輝度(パネル単位) | 500cd/m ² | | |
| 視野角(JEITA 準拠) | 178度 | | |
| 受信チャンネル | 地上デジタル 000-999(CATVパススルー対応) BS デジタル 000-999 110度CSデジタル 000-999(右旋円偏波) 地上アナログ VHF:1-12ch UHF:13-62ch CATV:C13-C63 | | |
| ダブルデジタルチューナー | ○ | ○ | |
| HDDレコーダー機能 (HDD容量他) | ○ (250GB、XCodeHD) | — | |
| 音声出力 (JEITA) | 総合 20W | | |
| スピーカー 中低音用 高音用 | (6.5×9.2cm パスレフ方式)×2 (6.5cm Φ)×2 | | |
| サラウンド他 | WOW(TruBass、SRS-3D)、TruSurround 5.1、BBE | | |
| 入出力端子 | HDMI入力端子 | 2 | 2 |
| | D4入力端子 | 2 | 2 |
| | S2ビデオ入力 | 3 | 3 |
| | ビデオ入力 | 4 | 4 |
| | モニター出力 | 1 | 1 |
| | サブウーハー出力 | 1 | 1 |
| | i.LINK (IS入出力/DV入力) | 1 | 1 |
| | 光デジタル音声出力 | 1 | 1 |
| | 電話回線接続端子 | 1 | 1 |
| | IRコントローラー | 2 | 2 |
| ヘッドホン出力 | 1 | 1 | |
| LAN端子 (10BASE-T/100BASE-TX) | 1 | 1 | |
| SD/MMCカードスロット | 1 | 1 | |
| アンテナ入力端子 | VHF/UHF 入力 ×1 | BS/CS-IF 入力 ×1 | |
| 消費電力(待機時) | 178W (0.5W) | 158W (0.5W) | |
| 年間消費電力量 (JEITA基準「スタンダード」で測定) | 170kWh/年 | 144kWh/年 | |
| 本体外形寸法 (幅×高さ×奥行) | 82.2×59.1×11.5cm (付属スタンド込時 82.2×65.3×36.5cm) | | |
| 本体質量(スタンド込) | 21.0kg (26.9kg) | 20.2kg (26.1kg) | |
| リモートスイーベル スタンド/ラック | ○(付属)/○(別売) | | |

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
